

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院消化器外科・内分泌・小児外科（第2外科）に、消化管間質腫瘍（GIST）で手術歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学外科学第2講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

消化管 GIST 切除例の臨床病理学的な特徴と予後や再発に関する臨床的研究

2. 研究責任者

和歌山県立医科大学外科学第2講座 准教授（病院教授） 松田 健司

3. 研究の目的

消化管間質腫瘍：小腸や胃、十二指腸、大腸といった消化管に発生する GIST は比較的稀な疾患であり、特に小腸や大腸ではさらに疾患数が少なくなる。当院で経験した消化管 GIST 切除例の臨床病理学的な特徴を後ろ向きに研究する。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

消化管間質腫瘍（GIST）の患者さんで、平成20年1月1日から令和2年9月30日までの期間中に、消化管間質腫瘍（GIST）の手術を和歌山県立医科大学附属病院 消化器外科で受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、性別・年齢・腫瘍原発部位・腫瘍サイズ・病理学的特徴・再発の有無・予後に関する情報です。

(3) 方法

過去のカルテから GIST の治療内容、病理結果、予後に関して後ろ向きに研究します。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 資金源及び利益相反等について

ありません

8. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学外科学第2講座 担当医師 竹本 典生

TEL : 073-441-0613 FAX : 073-446-6566 E-mail : m07055nt@wakayama-med.ac.jp